

勝てる土俵で勝負するが信念。 日本製タイルの魅力の世界へ

TOP INTERVIEW

【優良企業ガイド 2023】TSR 企業コード:473057778

株式会社エクシズ

- 所在地：〒507-0071
岐阜県多治見市旭ヶ丘 10-6-55
- TEL：0572-20-0711
- URL：https://x-s.jp,tajimicustomtiles.jp,ecorevo.jp
- 創業：平成6年3月
- 設立：平成9年10月
- 従業員数：30名(男性11名、女性19名)
- 売上高：9億2,000万円(令和3年9月期)

優良企業ガイドはP320へ

Q1 自社の魅力は何ですか？

タイルの卸売業としてスタートした弊社は、全国一のタイル生産量を誇る岐阜県多治見市にあります。住宅・商業施設・公共施設などで内外装に使うオーダーメイドタイル、タイル・石・ガラスを使ったモザイクアートを製作しています。弊社では新たな事業を始めるにあたり、私を中心にしてswot分析、ポジショニング分析を徹底して行います。弊社のハード、ソフトの長所を伸ばせるところを見極め、その分野に進出することで成長につなげてきました。「勝てる土俵で勝負する」がポリシー。その結果、いろいろな新規事業を展開できていて、徐々にその芽が出てきたと実感しています。

弊社は本来タイル商社の位置づけですが、今後は商社のみでは生き残れません。毎年、新たな設備を導入することでタイルメーカーに近い、いわゆるファブレスメーカーを目指していて、そういった点もタイル業界では珍しい存在です。好奇心旺盛なやる気のある方に入ってほしいので、年間休日も120日以上を確保しています。もちろん休日を増やす分、効率良く働くことをみんなで心掛けています。

Q2 社員へ求めることは何ですか？

弊社では今年64歳になる私の「社長退場プログラム」が進行しています。客観的に社員を評価、成長してもらうことでスムーズに事業継承をしていきたいからです。達成のため、3年前に東京から人事コンサルタントを招き人事評価システムを導入しました。MBO(目標管理制度)に従い、自ら決めた目標に対し月次で達成度を評価しながら、自身の能力開発や業績アップにつなげます。達成結果は部署の上司がチェックしますが、昇格は他部署の上司も交え客観的に評価するのが特徴です。導入から数年が経ち、社員ひとり一人が自分や会社の未来像を考える習慣づけができたと思っています。もちろん会社としても、社員の達成度に応じて、給料や賞与で応えています。

自分で目標を定め取り組む努力は、実は会社のためだけではなく、社員自身のために他なりません。なぜなら弊社の在籍社員は20～30代が多く、少なくとも残り30～40年は会社を存続させ、働いて食べていかないといけない人ばかりです。そのためにも一緒に会社を存続、成長させてくれる社員を求めています。

株式会社エクシズ 代表取締役

Profile

笠井 政志
かさい まさし

昭和33年2月27日生まれ、64歳。
21歳でアメリカへ渡り、帰国後にタイル輸出業者に就職。その後、平成6年に会社を設立。2021年4月に発足したセラミックパレー協会の初代チェアマン、多治見美濃焼卸センター協同組合の理事長も務める。

Q3 将来の事業ビジョンは？

循環型社会の構築に寄与する「エコレポ」プロジェクトが軌道に乗り始めています。生活ごみや産業廃棄物から発生する溶融スラグを使うリサイクルタイルです。また、特注タイルブランド「TAJIMI CUSTOM TILES」(TCT)も展開しています。2020年11月、表参道での自社展示会以降、国内外からの引き合いが増え、2022年6月に「ミラノサローネ」への単独出展も計画中です。

コロナ禍もあり本格的な市場回復が不透明ですが、それでも4年前に計画した売上10億円(国内4億3000万円、海外5億7000万円)が今期の目標です。海外市場の経済回復を見込み、2人体制だった海外事業部を4人に増員予定。5年後の輸出売上9億円を目指します。

美濃の土の可能性をデザインを通じて発信するブランド「MINO SOIL」の展示会。スタジオ ムンバイ代表ビジョイ・ジェイン氏とのコラボレーション企画が実現しました。

